

第 67 回定期総会 藤原忠彦全国町村会長祝辞

全国町村議会議長会第 67 回定期総会が開催されるにあたり、全国の町村長を代表いたしまして、お祝いのご挨拶を申し上げます。

はじめに、ご列席の町村議会議長各位におかれましては、日頃から住民福祉の向上と地域社会の振興発展のため、ご尽力いただいておりますことに対し、敬意を表しますとともに、私ども町村長に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、自治功労者及び他の範となる町村議会として表彰の栄に浴された皆様、並びに町村議会広報コンクールにおいて受賞されました皆様に、心からお祝い申し上げます。

さて、安倍内閣におかれましては、一億総活躍社会の実現を内政の重要課題に掲げているところでありますが、そのメインエンジンである地方創生なくして一億総活躍社会の実現はありません。私ども町村長は、熱意ある地方の創意工夫を応援するとしている政府の取組みと十分に連携し、自らの地域は自らが決めるという決意を新たに、町村議会とともに、全力でこの課題に取り組んでいかなければなりません。

さらに、町村が自主性・自立性を発揮して、様々な施策を実施していくためには、財政基盤の強化が不可欠であり、安定的な自主財源が確保されなければなりません。昨年末決定されました平成 28 年度の地方税制改正及び地方財政対策につきましては、極めて厳しい状況の中、本日も臨席の土屋総務副大臣にも大変なご尽力をいただき、我々が概ね納得できるものとなりましたが、財政力の弱い町村にとって生命線とも言うべき地方交付税総額の確保等については、今後も強力に訴え続けていかなければならないと考えております。

また、東日本大震災から間もなく 5 年が経とうとしております。発災からこれまで、被災地においては、復興に向けて懸命に取り組んでこられました、未だ 20 万人近い方々が避難を余儀なくされているほか、原発事故の影響を受けた地域では、復旧・復興事業が進展していないなど、依然として厳しい状況にあります。全国町村会としても、引き続き職員派遣など、復興に取り組む町村

を支援するとともに、復興が終了するまでの間、万全の予算措置を講じるよう、政府に求めてまいります。

全国町村会といたしましては、全国町村議会議長会と一致協力し、喫緊の課題や情勢に対応しつつ、町村の振興発展に向けた活動を、引き続き強力に展開して参る所存でありますので、皆様方のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに臨み、全国町村議会議長会の益々のご発展とご列席の皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

平成 28 年 2 月 5 日

全国町村会長 藤原 忠彦